



■ 学習館自主事業「夏休み！トキと自然の学校」を開校しました。

7月23日（月）、長岡市トキ分散飼育センターの地元大河津小学校4年生を対象に、「夏休み！トキと自然の学校」を開校、佐渡市でトキ子ども解説員として活動を行っている『佐渡市立行谷小学校』の子どもたちとの交流などを通じて、佐渡でのトキ保護に関する取組を学びました。

### 行谷小学校3・4年生との交流会

準備してきた名刺カードを使った自己紹介ゲームで仲良くなれたところで、行谷小学校の子どもたちから、トキ子ども解説員の活動や川の環境調査など、環境保全に関する取組を紹介してもらいました。



その後、行谷小学校の子どもたちから、トキの生態やエサ、天敵など、トキに関するクイズの出題が。



ヒントをもとに大河津小学校の子どもたちが正解を答えると、皆から拍手があがりました。



後半は、大河津小学校の子どもたちが作成したふるさとトランプについて、地域の取組を交えて紹介しました。



ふるさとトランプを使って班ごとにトランプ遊びを行った際には、どの班も盛り上がりを見せました。

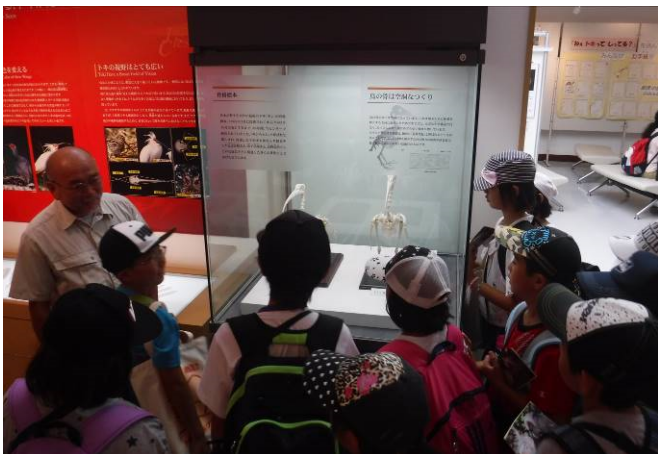


最後のプレゼント交換では、行谷小学校から折りトキ、大河津小学校からふるさとトランプが贈られました。



## トキの森公園見学

トキ保護センターの方から、日本最後のトキ「キン」について、はく製を見ながら話を伺いました。



トキふれあいプラザの中では飼育されているトキを間近で観察することができました。



## トキ野生復帰ステーション見学

環境省佐渡自然保護官事務所のレンジャーさんから、トキ野生復帰の取組を説明してもらいました。これまでの学習の成果か、説明の合間に出される問題にも子どもたちはすらすらと答えていました。



また、事務所内にあるモニター越しに野生復帰ステーションで飼育されているトキを観察することができました。



## おわりに

子どもたちは、トキ保護をはじめ自然環境を保全する大切さを学ぶことができました。大河津小学校では、総合学習で学んだことや、これまで体験・学習してきたことを、「子どもトキ解説員」としてトキと自然の学習館で発表する予定です。

子どもたちがどのような解説をしてくれるのか、今からとても楽しみです。